

工学や最先端技術の魅力や、大学での研究の様子や研究室の雰囲気を知るために、東京大学駒場キャンパスにある生産技術研究所へ、生徒7名（1年生2名、2年生5名）で見学に行きました。

まずは入り口で集合写真。この後、学生食堂で大学生に混ざって昼食をとりました。



生産技術研究所の紹介 DVD を見て、概要についてお話を伺いました。



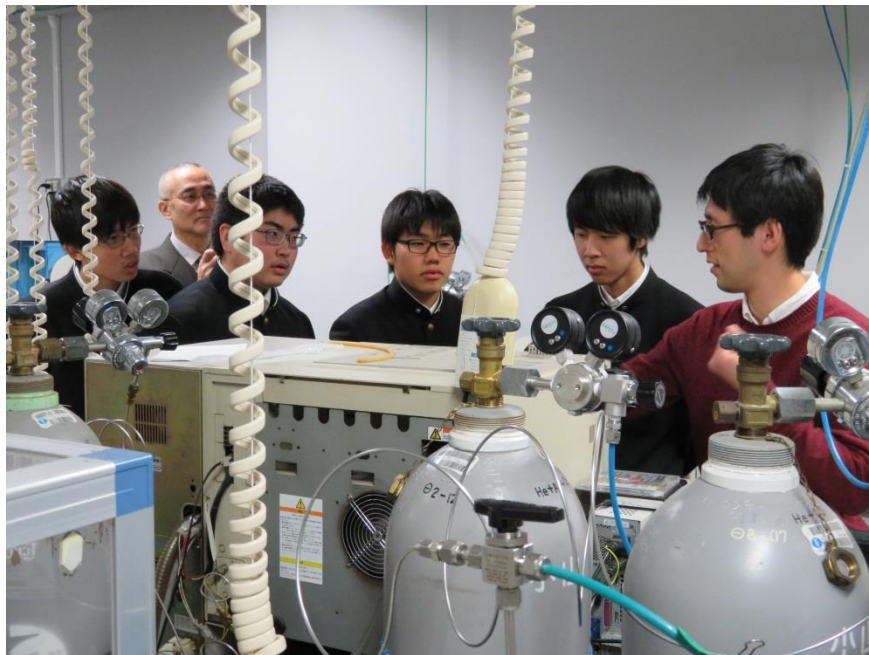
1か所目に見せていただいたのは、情報・エレクトロニクス系部門の年吉洋先生の研究室です。年吉研究室で行っているMEMS（Micro Electro Mechanical Systems：微小電気機械システム）の研究について、大学院の学生の方から解説をしていただきました。



MEMSの例として、DNAの束をつかむピンセットを紹介していただきました。手元のシャーレの中にピンセットがあるのですが…。小さすぎて、初めはどれがピンセットなのかかわからず、ルーペを取り出している生徒もいました。



続いて、物質・環境系部門の小倉賢先生の研究室を見学しました。  
実際に使っている実験器具を見せてもらい、どんな実験をしているのかお話を伺いました。



小倉研究室で研究に用いているゼオライトという多孔質材料を使ったイオン交換の実験もを見せていただき、それがどのように応用されて社会で利用されているのかといったお話を聞きました。



右上の写真は、ゼオライトの模型を組み立てているところです。複雑な構造ですが、全員がきちんと作製することができ、完成した模型はお土産としていただきました。

研究室見学後は、年吉研究室、小倉研究室のみなさんと懇談会の時間を設けていただきました。2つのグループに分かれ、勉強の仕方や進路の悩みについて相談したり、大学での研究の様子について詳しく話を聞いたりしていました。普段なかなか聞くことのできないリアルなお話は、生徒たちにとって大きな刺激になったようです。



年吉研究室、小倉研究室のみなさま、お忙しい中本当にありがとうございました。

